

事故のない、安全で快適な交通社会の実現を目指して



明るい交通

松本交通安全協会
松本警察署

長野県下における人身交通事故は、10月末現在で発生件数が3700件、死者数は34人、負傷者数は4409人。と前年に比べて発生件数、死者数、負傷者数は減少しています。

松本警察署管内における人身交通事故は、発生件数が457件、死者数は3人、負傷者数は540人と、発生件数と負傷者数は減少しているものの、死者数は増加傾向にあります。

松本警察署管内発生人身交通事故を類型別に検証すると、交通事故発生場所では、交差点が42.2%で高い比率となっています。当事者別に検証すると、子どもの事故が7.1%、松本警察署管内発生人身交通事故を類型別に検証すると、交通事故発生場所では、交差点が42.2%で高い比率となっています。当事者別に検証する

長野県下における人身交通事故は、10月末現在で発生件数が3700件、死者数は34人、負傷者数は4409人。と前年に比べて発生件数、死者数、負傷者数は減少しています。

松本警察署管内における人身交通事故は、発生件数が457件、死者数は3人、負傷者数は540人と、発生件数と負傷者数は減少しているものの、死者数は増加傾向にあります。

松本警察署管内発生人身交通事故を類型別に検証すると、交通事故発生場所では、交差点が42.2%で高い比率と、当事者の事故が7.1%、

交通第一課長
岩下 英樹

松本警察署管内における交通事故の発生状況(令和7年10月末現在)

令和7年10月末現在

2%、高校生の事故が8.0%であるのに対し、高齢者の事故は、39.8%と高い比率になります。

時間帯別に検証すると、夜間の発生状況が2.7%、薄暮時の発生状況が13.1%で、合わせると全体の35.8%となります。

本市、山形村の実現に向けて御活躍いただいております。より、更なる交通安全意識を広めていただき、地域の皆様方が穏やかな年末年始を迎えられますようお願い申します。ようお願い申します。

交通事故発生状況(速報値)			自転車事故発生状況(速報値)		
	発生件数(件)	死者(人)	発生件数(件)	死者(人)	全事故に占める割合
長野県内	3,700	34	4,409		
	(前年同期比) -320	-13	-453		
	-8%	-27.7%	-9.3%		
松本警察署管内	457	3	540		
	(前年同期比) -143	2	-167		
	-23.8%	200%	-23.6%		

令和7年10月31日現在

この新聞は皆様方からの交通安全協会費、協力費により作成しました。

協会トピック

緑十字銅章授章伝達式の実施



井口博水清水支部長
関東管区警察局長・関東
交通安全協会連合会会長
連名表彰の授章

井口支部長は、長年にわたり地域の交通安全に尽力

井口博水清水支部長
関東管区警察局長・関東
交通安全協会連合会会長
連名表彰の授章

受賞者の皆さんは引き続き地域の交通事故が減少するよう献身的な活動や模範的な運転に心掛けた。受賞者は交通功労者

松本交通安全協会関係では、交通安全功労者8名、優良運転者2名が授章されました。松本交通安全協会が長年にわたり交通安全の推進に尽力された功労者とともに長年安全運転に努めた者に対しても、おぐらるる今年度の交通栄誉章「緑十字銅章」の受賞者への伝達式が9月26日松本警察署で行われました。

松本交通安全協会関係では、交通安全功労者8名、優良運転者2名が授章されました。

力し苦労を惜しまず献身的な活動を行ってきました。この度これまでの功績と無事故・無違反の模範的な運転に努めていることに対する優良運転者として受賞されました。井口支部長はこの受賞を機に交通安全に対する意識を地域に広め引き続き安全運転に心掛け交通安全活動に尽力する思いを新たにしていました。



松本交通安全協会 事業所会員

アルピコタクシー株式会社
日本通運株式会社松本支店様
アルピコタクシー株式会社
信州名鉄運輸株式会社様
松本第一交通株式会社様
全農長野県本部中信事業所
西濃運輸株式会社松本支店様
松本牛乳輸送株式会社様
相互第一交通株式会社様
メトバタクシー株式会社様
信州運送株式会社様
丸中運送株式会社様
大栄産業株式会社様
長野第一物流株式会社松本営業所様
T'Sネットワーク株式会社松本流通センター様
山梨貨物自動車株式会社松本営業所様
アルプス運輸建設株式会社様
松本市駐車場事業協同組合様
株式会社井上様
イオンモール株式会社イオンモール松本様
トピーファスナー工業株式会社様
信州ビバレッジ株式会社様

支部だより



駅前支部は松本駅前を中心には14町会で構成されています。各支部の中でも行事などが（松本ぼんぽん・市民祭・松本あめ市・青山様ぼんぽん・天神祭・神道祭・県縦断

駅伝等など）大変多くあります。又車の動き、人の動きも多い地区にあります。各支部の員で構成されていますが8名の理事と8名位の役員で構成されています。最近は高齢化が進み若い員に大変苦労しています。年4回の交通安全運動の最終日にはのぼり旗片付けの後、駅前交番の警察官と駅周辺の飲食店を巡

回しティッシュ・チランを配布し、飲酒運転根絶をお願いしています。一頃飲酒運転も少なくなりましたが最近は増える傾向にあります。飲酒運転で事故を起こせば被害者はもとより加害者とその家族も大変な思いになりますので、飲食店の方にも飲酒運転防止をしっかりとお願いするようにして

芳川支部

松本交通安全協会芳川支部は村井町分会、小屋分会、野溝分会、平田分会、美芳町分会、長丘町分会、北原町分会の全7分会合計約5500戸から構成されています。

主要な活動としましては、季節の交通安全週間期間中における主要道路での啓もう活動、防災訓練における周辺道路の交通警備・歩行者の安全確保、各地区における行事活動（三九郎、神社例大祭など）の交通警備、横断用手旗・のぼり旗等の設置による交通安全の啓もう活動を行っておりま

数年前までは、主要道路における朝の啓もう活動では交通安全の呼びかけ用チラシ・ポケットティッシュの戸別配布を行っておりました。また運

習会の開催、小学校における自転車安全教室のサポート活動、保育園児の安全歩行教室のサポート等を行っておりました。しかしながらウイルス感染症が拡大して以降各地区の行事等は縮小され、参加人数の減少や業務形態の見直し等により私たちの交通安全協会の活動も大きな影響を受けています。そこで実感しております。更に、長年にわたり地元の交通安全協会を支えてこられた役員の方々の高齢化もこの組織を維持・運営していく上で避けて通れない大きな課題であると思います。また現在役員として選出されている方々の多くはご自身の仕事をしながら活動されており、近年の厳しい社会情勢の中で地域性を理解し地区町会とも連携しながら非常時の中豪雨による水害など広い面積を持つ芳川地区の地域性を理解し地区町会の活動に時間を作るこ

な変革の波が押し寄せているように感じられます。が、長い年月をかけ大勢の先輩方が真剣に将来を見据えながら作られてきたこの交通安全協会の組織を、今後無駄にすることの無いように各地区的役員が地元の意見を聞きながら、まずは小さくても自分の地区に役立てる事を積み重ねていくことで、交通安全だけにこだわらない地区に根ざした組織になっていくことができないかと考えております。例えばいつ起きるかもしない地震災害や、集中豪雨による水害など広い面積を持つ芳川地区の地域性を理解し地区町会の重要な課題の一つであると考えます。そのため現在の組織を活かせるような運営方法を周囲の組織とも連携し、意見交換などをしながら歩でも二歩でも先へ進めていけるような環境作りが大切であり、今後の活動に生かしていくればと